



平成27年3月期 確定決算



三ツ星ベルト株式会社

2014年度業績



(単位:百万円)

	2013実績	2014実績	差異	率
売上高	63,685	66,251	+2,566	+4.0%
営業利益	6,124	7,133	+1,009	+16.5%
率	9.6%	10.8%		
経常利益	7,302	8,217	+915	+12.5%
率	11.5%	12.4%		
当期純利益	4,721	6,146	+1,425	+30.2%
率	7.4%	9.3%		

(2014年度業績)

増収・増益

売上高

- ・国内 設備投資の回復に伴って売上が増加
- ・海外 アジア圏の売上が順調に拡大
- ・為替 為替レートが前期と比較して円安

利益

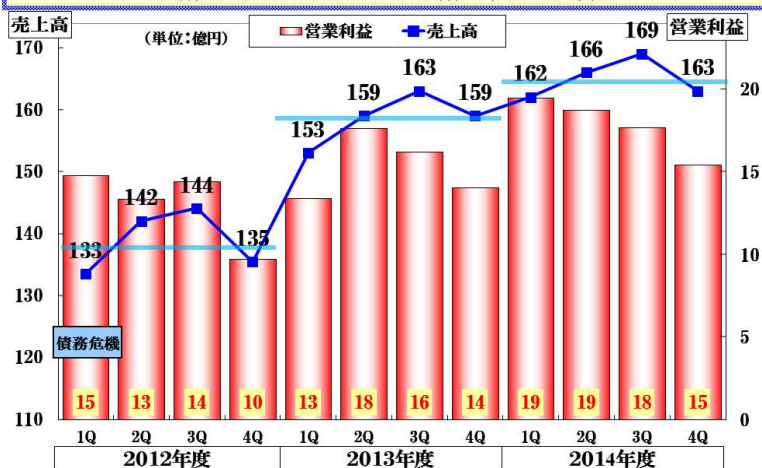
- ・アジア諸国の賃金上昇(減益要因)
- ・売上高の増加
- ・円安による海外工場の原材料仕入れ価格低下
- ・原価低減などの内部努力

過去最高益を更新

四半期業績 推移



通期を通して 160億円台/四半期 の売上高を確保



(四半期推移)

売上高は160億円台で推移

売上高

- ・ベルト事業が国内外ともに増収
- ・円安による海外関係会社の売上高の上積み

営業利益

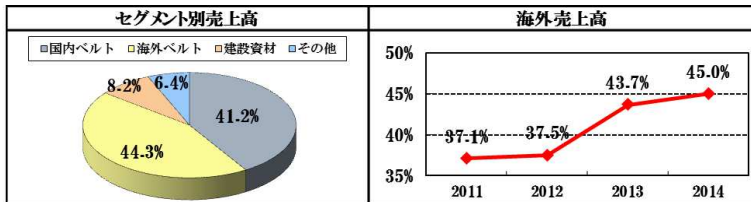
- ・通期では利益率10%台を維持

セグメント別売上高



(単位:百万円)

		2013実績		2014実績		差異	率%
セグメント別	国内ベルト	26,567	41.7%	27,268	41.2%	+701	+2.6%
	海外ベルト	27,388	43.0%	29,355	44.3%	+1,967	+7.2%
	建設資材	5,725	9.0%	5,417	8.2%	△308	△5.4%
	その他	4,003	6.3%	4,210	6.4%	+207	+5.2%
	計	63,685	100%	66,251	100%	+2,566	+4.0%
海外売上高		27,802	43.7%	29,820	45.0%	+2,018	+7.3%



(セグメント別売上高)

ベルトは国内・海外ともに増加

国内ベルト

- ・自動車用ベルトは補修需要が減少
- ・企業の設備投資の回復により、一般産業用ベルトや合成樹脂素材が増加

海外ベルト

- ・重点市場のアジア・中国で売上が好調

建設資材

- ・土木部門は好調
- ・建築部門の落ち込みが大きい

海外売上高比率

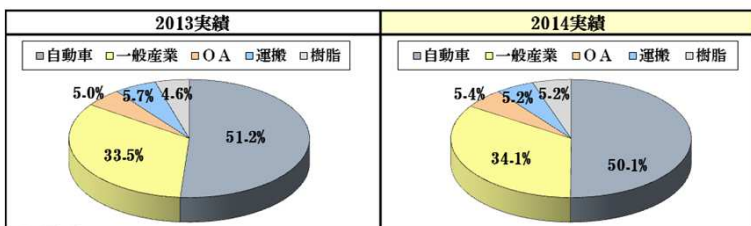
- ・円安影響もあり若干上昇

ベルト売上高の内訳



(単位:百万円)

	2013実績		2014実績		差異	率%
自動車用ベルト	27,620	51.2%	28,351	50.1%	+731	+2.6%
一般産業用ベルト	18,081	33.5%	19,325	34.1%	+1,244	+6.9%
OA機器用ベルト	2,692	5.0%	3,066	5.4%	+374	+13.9%
運搬ベルト	3,087	5.7%	2,935	5.2%	△152	△4.9%
合成樹脂素材	2,475	4.6%	2,946	5.2%	+471	+19.0%
ベルト計	53,955	100%	56,623	100%	+2,668	+4.9%



(ベルト売上高)

自動車用+2.6% 一般産業用+6.9%

自動車用ベルト

- ・国内 減少
- ・海外 2輪車向けや補修市場向けが増加

一般産業用ベルト

- ・国内外ともに増加

OA機器用ベルト

- ・日系ユーザ向けが増加

運搬ベルト

- ・大型物件が減少

合成樹脂素材

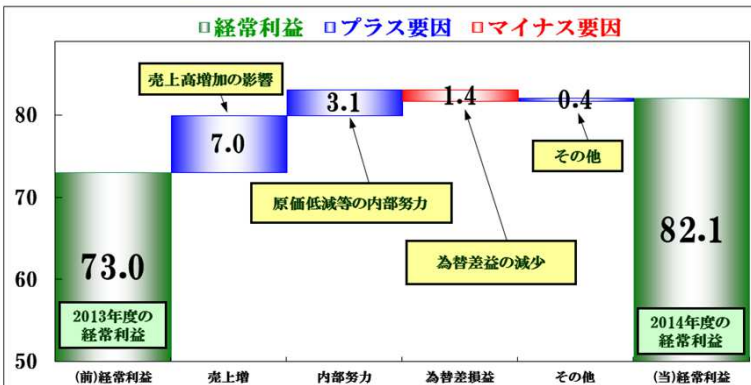
- ・設備投資の回復に伴い増加

経常利益の変動要因

(単位:億円)



	2013実績	2014実績	差異
売上高	636.8	662.5	+25.6
営業利益	61.2	71.3	+10.1
経常利益	73.0	82.1	+9.1



(利益)

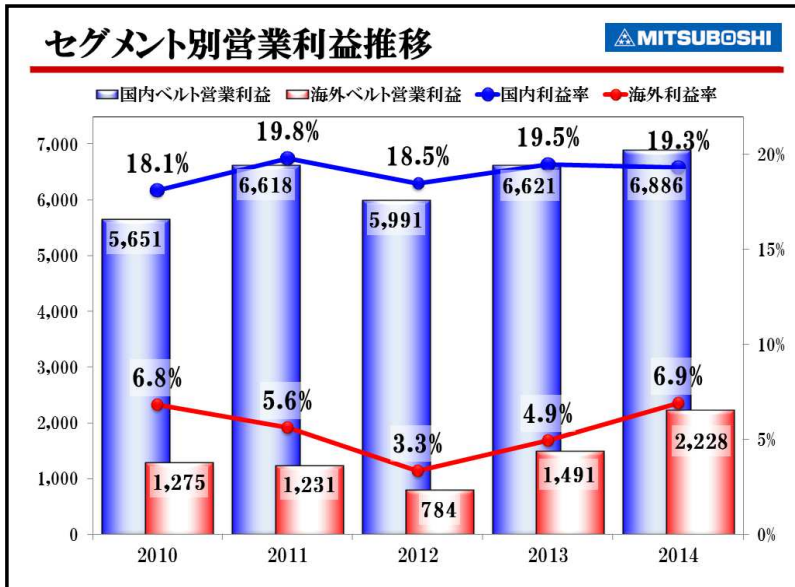
2期連続 過去最高益

営業利益

- ・売上高増加の影響 +7.0億円
- ・原価低減などの内部努力 +3.1億円
- ・その他 +10.1億円

経常利益

- ・営業利益の増減 +10.1億円
- ・為替差益の減少 △1.4億円
- ・その他 +0.4億円
- ・その他 +9.1億円



(セグメント別営業利益) 海外ベルトの利益率が向上

海外ベルト営業利益

- 国内で行ってきた仕様統合などの原価低減活動を海外工場へ展開
- 生産性向上目的の設備投資を継続

利益率は徐々に改善

次期業績予想

(単位:百万円)

	2014実績	2015開示			前期比	
		上期	下期	通期	金額	%
売上高	66,251	33,500	33,500	67,000	+749	+1.1%
営業利益	7,133	3,350	3,350	6,700	△433	△6.1%
率	10.8%	10.0%	10.0%	10.0%		
経常利益	8,217	3,300	3,200	6,500	△1,717	△20.9%
率	12.4%	9.9%	9.6%	9.7%		
純利益	6,146	2,250	2,350	4,600	△1,546	△25.2%

為替レート US\$ 115円 ユーロ 125円

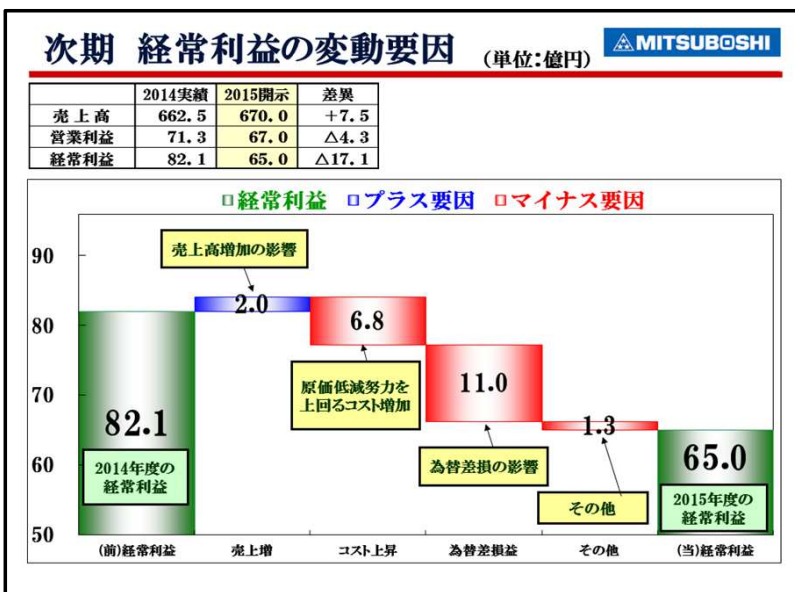
(次期予想) 営業利益率10%を目標

売上高

- 主に、海外での売上拡大を見込む

利益

- 国内外の件費上昇などのコスト増加
- 円高による為替差損の発生



(次期利益) コスト負担増加により減益を見込む

営業利益

- 売上高増加の影響 +2.0億円
- コスト増加 △6.8億円
- その他 +0.5億円

△4.3億円

経常利益

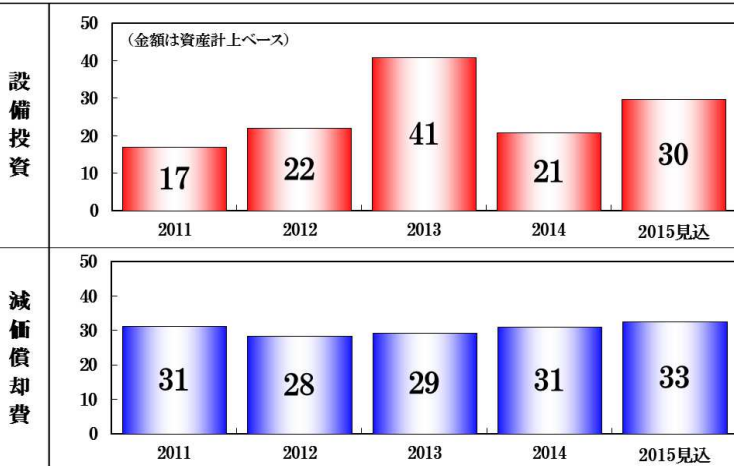
- 営業利益の増減 △4.3億円
- 為替差損の影響 △11.0億円
- その他 △1.8億円

△17.1億円

設備投資と減価償却費



(単位:億円)



(設備投資)

大型投資案件等について

・海外工場への大型投資案件等は昨年度までに集中し、今年度はほぼ半減した。

国内の主な投資

・金型内製の大型金属加工機

海外の主な投資

・主として老朽化した生産設備の更新

自己株式の消却

(単位:千株)



取得・消却開始前(1998年6月時点) 発行済株式総数 103,995

取得累計 43,595 (42%)

消却累計
35,670 (34%)

保有

処分

市場株式

2015年3月末 発行済株式総数
68,208 (66%)

(単元未満株式の取得・消却を除く)

	2014年度		1998～2014累計	
取得			43,595	42%
消却	3,000	3%	35,670	34%

(自己株式)

自己株式の消却を実施

・2015年2月に自己株式を3百万株の消却を実施

・1998年以降の累計

取得：43百万株 (42%)

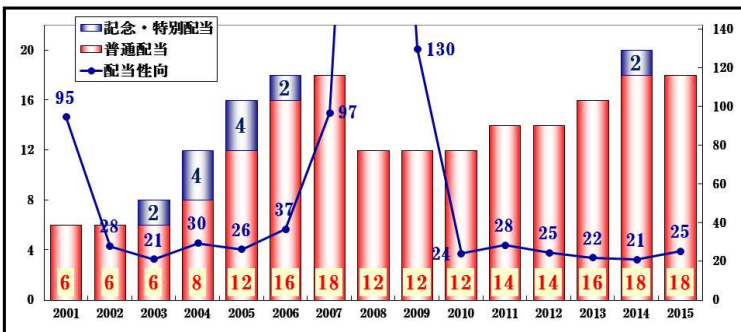
消却：35百万株 (34%)

※括弧内の数値は、取得・消却開始前に対する割合

配当金



	中間	期末	特別配当	合計
2014年3月期	7円	7円+2円増配		16円
2015年3月期(予定)	8円	8円+2円増配	2円	20円
2016年3月期(予定)	9円	9円		18円



(配当金)

期末配当を2円増配+特別配当

・中間配当8円を実施

・期末配当8円→10円に増配(予定)

・特別配当2円を追加(予定)

・期末配当は合計12円の予定